

製造業安全対策官民協議会
第 10 回サブワーキンググループ（向殿 SWG）検討会
議事要旨

令和元年 8 月 28 日（水）10：00～12：00
安全衛生総合会館 8 階大教室

1 出席者

出席者名簿（資料 1）のとおり

2 議事

会議冒頭、向殿主査より挨拶があった。

- ・ 現在、本 SWG で新たに取り上げるテーマ（リスクアセスメントの共通化手法の検討）は、非常に難しいが面白い内容である。活発に議論をお願いしたい。

(1) リスクアセスメントの共通化手法の検討について

事務局より資料 3-1、資料 3-2、資料 4-1、資料 4-2、の説明を行なった後、次テーマについて意見交換を行なった。内容は下記のとおり。

- ・ 次のテーマを“現場を重視した危険源の特定”とし各事業所が実施している手法を取りまとめ、共通化手法を探って見てはどうか。現場の立場、機械の設計・設置・作業の各段階の中で設置・作業の中でどのように危険源を見つけ出し対応するか各団体や企業によって違うのではないかと思われる。皆さんに事例等提出してもらい、共有することで学ぶことができ有効ではないだろうか、共通化できればと考える。
 - ⇒ 異論なし
- ・ 進め方としては各企業団体にお手数おかけしないよう事務局で依頼文を作成し、リスクアセスメントの実施規程や実施要領を差し支えない範囲で提出いただきたい。できれば電子データでいただき、今年度中にまとめて来年度には共通化手法を議論したいと考えている。
 - ⇒ 規程という言葉だと企業秘密に属するイメージを持たれる恐れがある。提出してかまわないリスクアセスメントなど依頼文は提出をしやすいよう丁寧な言葉で行ってほしい。
- ・ 依頼文の案が作成できたら各団体に確認をしていただきたい。できるだけたくさんのサンプル、事例があるとよいので文面等助言をいただきたい。
 - ⇒ 文面ではリスクアセスメントの範囲を限定してほしい。プラントだとターゲットとして様々な立場の方がいる。機械の設計、作業のリスクなど分野が絞り込まれると回答を行いやすい。化学プラントのリスクはリスクの種類が異なる。
 - ⇒ 事業場への依頼文書は直接なのか団体を通じてなのか？
 - ・ 団体を通じて行ってもらおう。文章は団体ごとに合わせて作成する。
 - ⇒ アウトプットについて、あらかじめ分類を切り分けておいた方がいいのではないか。取りまとめにあたっては、ある程度イメージをしておくことが必要。
 - ・ アウトプットについて、現在出ているアウトプットと似た形では面白くない。大きな災害に繋がりが得るハザードを漏れなく特定できるよう、どうすればよいかという観点で考え行きたい。分類方法は事故の型で分けたり・エネルギーで分けたり切り口はいろいろ考えられる。
 - ⇒ 会員への依頼は 2 度手間、3 度手間にならないよう、できるだけ幅広くハザードの特定に関する資料を提出するよう依頼をしてほしい。

(2) 設備点検・補修・更新基準の共通化について

三菱ケミカルリサーチより資料 5 を用いて成果について説明があった。